

石油製品の価格動向について

平成19年4月26日
生活環境部
総務企画グループ

1 石油製品の価格動向調査の結果

県内の石油製品4品目について、4月19日～24日に価格動向調査を実施しましたが、その結果については以下のとおりです（非定店調査）。

（単位：円、消費税込み）

品目名	規格・容量	店舗形態	前月調査の 平均価格	4月調査の 平均価格	対前月比 (%)
ガソリン	レギュラー1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	128	130	1.6
		セルフ	124	127	2.4
軽油	個人消費向け1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	108	109	0.9
		セルフ	104	106	1.9
灯油	店頭価格、18ℓ	一般店舗	1,257	1,267	0.8
		セルフ	1,203	1,202	0.1
	配達価格、18ℓ	一般店舗	1,369	1,377	0.6
LPガス	一般家庭用、10m ³	一般店舗	6,660	6,724	1.0

ガソリンは7か月ぶりに、軽油は2か月連続で値上がりした。元売各社の卸売価格値上げが価格に転嫁されたためとみられる。

給油所間の価格競争の激化があるものの、大型連休を控え緩やかな上昇が見込まれる為、引き続き動向を注視していく必要がある。

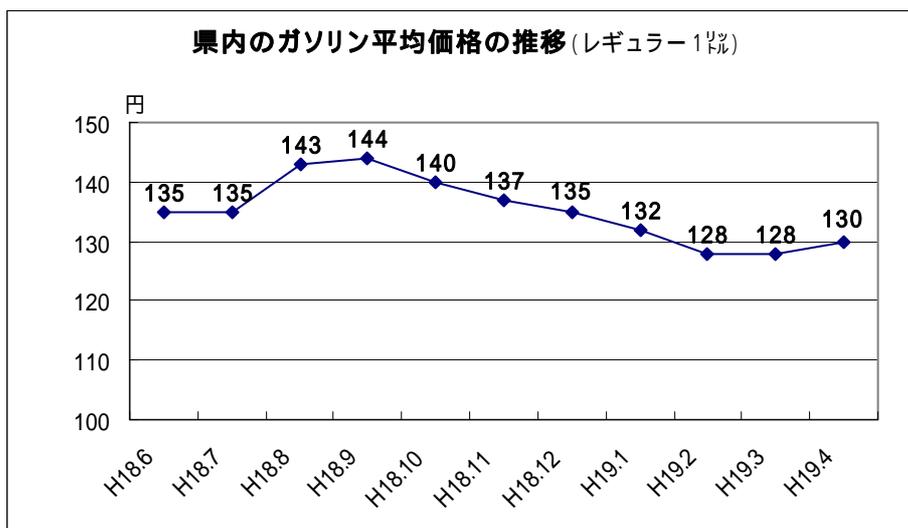
灯油は全般的に需要期を過ぎたもののわずかに値上がりした。

LPガスはサウジアラビア国営石油会社が4月積みの液化石油ガス（LPガス）の価格を引き上げると表明していることから、引き続き動向を注視していく必要がある。

2 県内の石油製品価格の推移

(1) ガソリン価格

一般店舗価格

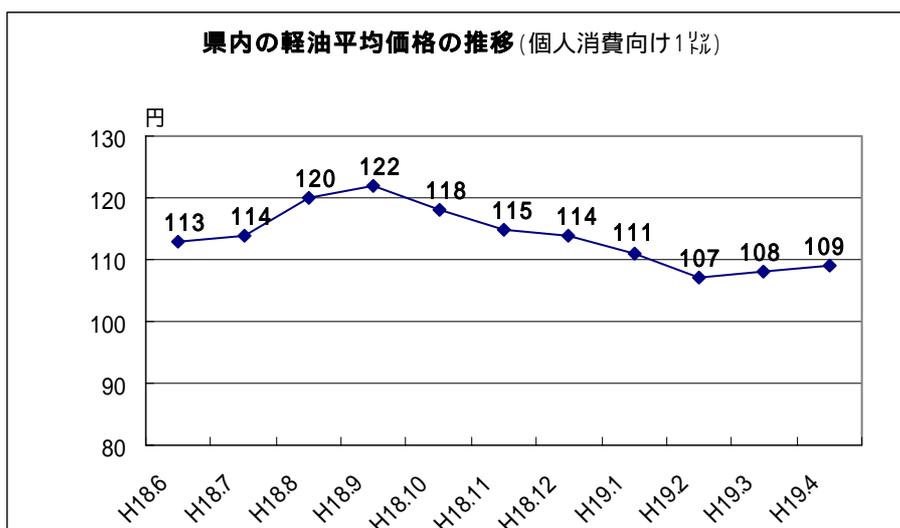


下げ止まりがみられた3月に続き、4月は7か月ぶりに値上がりに転じて130円となった。元売各社の卸売価格値上げが価格に転嫁されたためとみられる。なお、130円台となったのは本年1月以来である。

給油所間の価格競争の激化があるものの、大型連休を控え緩やかな上昇が見込まれる為、引き続き動向を注視していく必要がある。

(2) 軽油価格

一般店舗価格

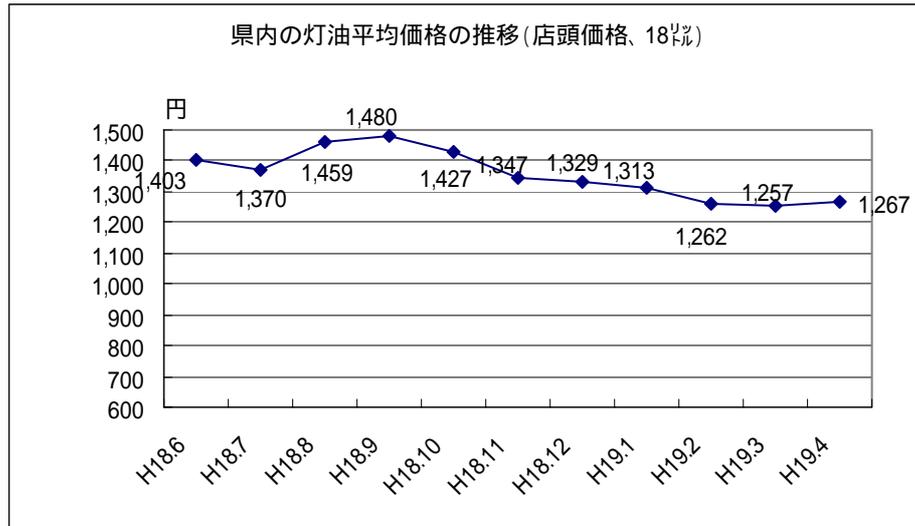


3月調査結果と比較すると、4月は1円値上がりし、109円となった。元売各社の卸売価格値上げが価格に転嫁されたためとみられ、2か月連続の値上がりとなった。

給油所間の価格競争の激化があるものの、引き続き動向を注視していく必要がある。

(3) 灯油価格

一般店舗価格

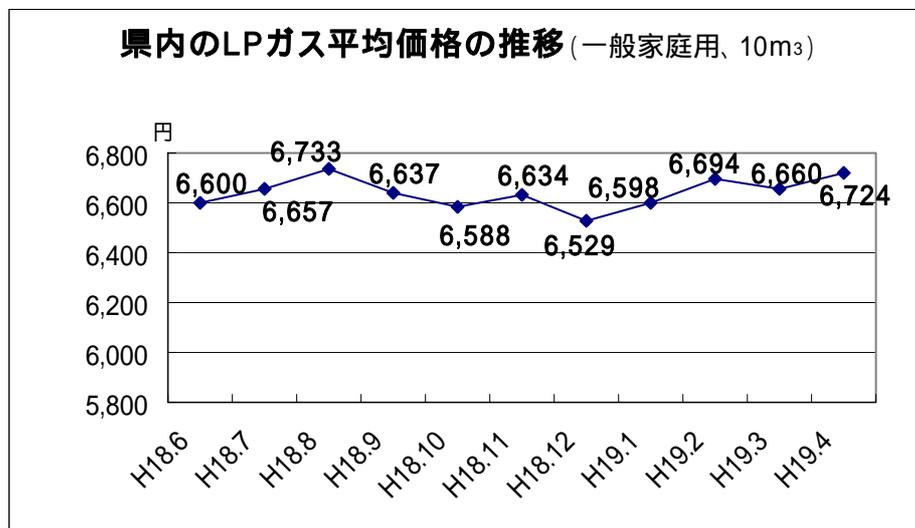


3月調査結果と比較すると、4月は10円(1ℓ当たり0.5円)値上がりし、1,267円となった。

灯油は全般的に需要期を過ぎたものの、引き続き動向を注視していく必要がある。

(4) LPガス価格

一般店舗価格



3月調査結果と比較すると、4月は6,724円となり、64円値上がりした。

LPガスは季節的な需要の増減はあるものの、直ちに価格変動につながらないと考えられるが、サウジアラビア国営石油会社が4月積みめの液化石油ガス(LPガス)の価格を引き上げると表明していることから、引き続き動向を注視していく必要がある。